

普及活動情勢報告（令和6年6月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

ドローンの有効活用を探る ～土佐市ショウガスマート農業協議会～



5月27日、土佐市ショウガスマート農業協議会の生産者4人を含む協議会メンバーと高知工科大学の教授やドローン防除を請け負う業者等、総勢21人が一堂に会し、令和5年度の実績報告の報告会が行われました。

農業技術センターと高知工科大学から、ドローン撮影画像を活用した病害の早期発見技術開発の状況について報告があり、生産者から「早期発見と精度の向上を是非お願いしたい」といった熱い要望がありました。

農業改良普及課は、6年度の実験計画について説明し、関係者で協力して取組を進めることを確認しました。今後も、スマート農業技術の活用に向けて支援を行っていきます。

集落営農組織設立に向けて！ ～いの町沖田地区発起人会が学習会を開催～



5月27日、沖田地区集落営農組織発起人会を対象にいの町役場で学習会を開催し、発起人8名が参加しました。

農業改良普及課は、県内集落営農組織4事例の紹介（DVD）と組織設立に向けて機械の保有状況調査説明を行いました。

参加者からは、「集落営農組織がたくさんあることにびっくりした」、「沖田地区をどうしていくか考えたい」、「農業は息子に継がせたい」などの感想や意見が出されました。

学習会を設けたことで集落営農組織のイメージを高めることができ、更に視察実施に繋げる事ができました。

農業改良普及課は今後も役場と連携して集落営農組織が設立できるよう支援します。

有機農業に向けての取組 ～アイガモロボット運用開始！～



5月31日、いの町吾北地域で有機農業に向けた取組の一環として、アイガモロボットによる雑草抑制効果の実証がスタートしました。生産者2名、農業改良普及課2名、メーカー1名の計5名が参加し、メーカー協力の下、実証ほの設置を行いました。

農業改良普及課からは、水位や豪雨の際の注意点を説明し、生産者からは「結果が楽しみ」、「今後も新しい情報があればつないでほしい」といった意見がありました。

現在は座礁もたまに起こりますが、概ね順調に稼働しています。

農業改良普及課は、今後も有機農業に向けた取組について支援を行っていきます。

担い手確保に向けて
～春野高校生に産地の紹介～



6月5日、県立春野高校で、高知農業改良普及所とともに、担い手確保の取組として高知県の農業や各産地を紹介する講座を開催し、生徒15人が参加しました。

農業改良普及課は、産地事例資料の作成を支援し、JAから土佐市ピーマン部会での取組や新規就農者の事例を紹介しました。

生徒から「将来高知での就農を考えていて、I o P等を活用したいと思った」、「進路決定の参考になった」等の声がありました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携して、担い手確保に向けた取組を継続していきます。

オクラ収穫開始！
～日高オクラ生産部会 目慣らし・栽培講習会～



6月12日、日高オクラ生産部会で目慣らし・栽培講習会が開催され、生産者7人に対してオクラの出荷基準や収穫時の注意点について講習しました。

農業改良普及課からは、定植から6月までの栽培の振り返りと、収穫時期以降の樹勢の管理方法について指導を行いました。

生産者からは、「出荷基準については出荷場の詰め子さんにも話を聞いて貰った方がよい」、「カメムシはどの程度発生しているのか」等、活発に質問・意見が出されました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携してオクラの生産振興について支援します。